大庭みちよし 後援会 ニュース

Ohba Michiyoshi kouenkai News

No.187
2023 春号

令和５年 12 月 21 日「令和４年度　市議会議員と話そう」が袋井高校にて開催されました。当日は、各議員が袋井高校の生徒の皆さんとグループごとに分かれ、私たち高校生が考える「住みよいまち」とは、をテーマに意見発表して貰いました。

生徒の皆さんからは、●公共交通が整備されたまち●交通マナーが良いまち●治安が良く、若者が集まるまち●いろいろな店が開いて賑やかなまち●健康的で住みよいまち　etc などたくさんの意見が出されると共に、その為に「私たち高校生が出来る事」も発表して貰いました。

恒例になっているこうした取組をもとに、議会でも若者の貴重な意見を今後のまちづくりに生かしてまいります。

「令和５年度」のスタート

桜前線の北上とともに心地よい季節になってまいりました。

後援会の皆様におかれましてもお健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、2019年暮れより中国武漢に端を発した新型コロナウイルス感染も４年目、新たなウイルスで感染者が増えた第8波も収束し、3月13日よりマスクの着用が政府の方針で個人判断となり、これまでの日常が戻りつつあります。

また5月8日からは感染症法上の分類が第２類から第５類へと変更され、季節性のインフルエンザと同等になるということで、いよいよアフターコロナの生活が始まるものと思います。

ところで、２月定例会ですが今回の議会では大場市長が就任して２回目の予算編成ということで、市長からは、「チャレンジ＆スマイル」を合言葉に未来に向けた実践予算として、「子育てと教育の質を向上させるまちづくりの実践」「新たなつながりによる共創のまちづくりの実践」など６項目＜次ページ参照＞を重点取り組み項目に掲げ、令和5年度は明るい未来にステップアップする年として新年度がスタート致しました。

予算規模は、一般会計総額338億3千万円、前年度対比6. 2%と過去最大で、この中身を見ますと「地球温暖化実行計画の策定」や「治水対策緊急事業」など、新規事業も44件と多く、新たな事業に果敢にチャレンジする予算となっています。

また、昨今のエネルギー価格・物価高騰などに対する事業にも令和4年～5年に継続して「子育て支援」や「肥料の高騰に対する補助金」「住民税非課税世帯に対する電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」など16事業、約12億円余が充てられています。実はこうした、物価高騰対策やコロナ関連対策の支出は令和2年度から令和5年度までに総額にして約153億円余のお金が投じられてきています。

なお、今議会におきましては、私からは昨年秋の台風15号による甚大な被害が市内各地において発生しましたが、この本市の大きな課題である治水対策について一般質問（次ページに掲載）で提案をさせていただいたところです。

いずれにせよ、様々な課題が山積していますが、皆様のご意見をいただきながら住みよいまちづくりに向けて取り組んでまいります。

どうか、倍旧のご指導、ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

袋井市議会議員
大庭通嘉

令和５年度　２月定例会　　議会報告

一般会計補正予算（小中学校施設機能向上事業、袋井応援商品券発行事業など）が提案される

□ ２月定例会開会

令和5年度2月定例会は、さる2月20日に開会し、令和5年度一般会計予算をはじめ26議案が市長より、また議会より2件の議案が提案され、審議の結果、全議案可決承認され、3月20日に29日間の会期を閉じました。

□ ２月定例会で提出された主な議案

- 令和４年度袋井市一般会計補正予算（第１０号）について
- 令和５年度袋井市一般会計予算について
- 袋井市印鑑条例の一部改正について
- 袋井市手数料条例の一部改正について
- 袋井市副市長の選任につき同意を求めることについて

ほか　市長提出議案21件　議員提出議案2件　全議案承認可決

□ 市長の市政方針より（市政運営の方針）

未来に向けた実践予算

令和3年よりチャレンジ＆スマイルを合言葉に市民みんなが主体的かつ前向きに取り組むまちの実現に向け市政を運営してきた。令和5年度は、さらに「明るい未来にステップアップする年」として「新年度の6つの重点取組項目」の全力で取り組む。

1. 子育てと教育の質を向上させるまちづくりの実践
2. すべての市民がWell-Beingなまちづくりの実践
3. 環境に配慮し住み続けたくなるまちづくりの実践
4. イノベーションと賑わいの創出によるまちづくりの実践
5. あらゆるリスクに備えるまちづくりの実践
6. 新たなつながりによる共創のまちづくりの実践

□ 令和５年度予算の概要（歳入）

令和5年度の一般会計は右表のように、338. 3億円で前年比6. 2%増、また、特別会計、企業会計を合わせた総額は627. 4億円で4. 5%増となりました。

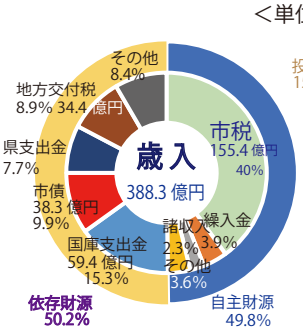
歳入のうち市税は前年比2.5%増の155. 3億円の計上となりました。また、地方交付税は2. 4億円、7. 5%増の34. 4億円、市債は2. 6億円、7. 5%増の38. 3億円となりました。これにより実質公債比率は6%程度、（例：家族全員の１年間の借金返済額が給与収入に占める割合）と減少傾向に、また、地方債減債高（借金）は約15. 7億円増加した328. 3億円となります。なお、経常収支比率が91%程度と目標90.0%を1%程度上回っており財政の硬直化状況にあります。

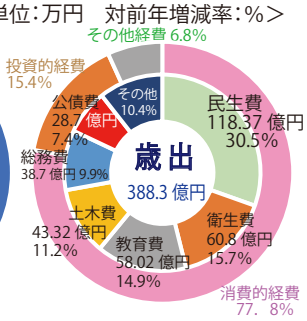
□ 主な事業の概要（歳出）

事業の主なものとして、●教育・子育て支援では、子どもの医療費の無料化を高校生まで拡充して10月診療分から2100万円（通年では6300万円の増となる）を、放課後児童クラブは南小、北小の2クラブ増設の2210万円を、午睡支援システムなどを導入する園務支援ステムに4210万円の予算化をしています。●産業の推進では、森町と覚書を交わした袋井インター通り線の整備に1385万円を、中小企業デジタル推進事業として専門家を派遣する事業に300万円を、●健康長寿の推進に、総合健康センター将来構想策定に令和5, 6年の2年をかけて構想を取りまとめる事業に420万円を、健康長寿研究に300万円を、●治水対策事業として、柳原雨水ポンプ整備事業に3億8550万円を、松橋川・油山川等河川改修に1億8330万円を、また、袋井駅南地区新幹線南側エリア（仮称）袋井セントラルパーク構想に2580万円など、総額5億6280万円の治水対策の予算化をしています。●観光政策として、海のにぎわい創出プロジェクトに防潮堤整備事業も含めて4億2658万円や、団体ツアー支援事業として500万円を予算化しています。

□ 袋井市令和５年度一般会計予算

＜単位：万円　対前年増減率：%＞





＜単位：千円　対前年増減率 %＞

一般会計		38,830,000	6.2
特別会計	国民健康保険	8,020,000	8.4
	後期高齢者医療	931,000	1.9
	介護保険	6,080,000	1.9
	駐車場	46,300	2.9
	墓地	59,000	31.1
	小計	15,136,300	5.3
企業会計	水道	2,736,000	2.1
	下水道	4,017,000	▲9.2
	病院		0.8
	小計	8,777,000	3.7
	総計	62,743,300	4.5

□ 袋井市令和５年度主な事業一覧

＜単位：万円＞

教育・子育て支援	
・子ども医療費無料化（１０月から）	2100
・放課後児童クラブ（南小・北小）増設	2210
・園務支援システム導入等	4210
産業の推進	
・袋井インター通り線整備	1385
・中小企業デジタル推進事業	300
健康長寿の推進	
・総合健康センター将来構想策定	420
・健康長寿研究	300
治水対策事業	
・柳原雨水ポンプ整備事業	３億8550
・松橋川・油山川等河川改修	１億8330
・袋井駅南地区新幹線南側エリア構想策定	2580
観光政策	
・海のにぎわい創出Project（防潮堤含む）	4億2658
・団体ツアー支援事業	500

□浅羽の海岸へ「海のにぎわいゾーン」を

市ではこれまで市民のさまざまな意見を聞くなどして浅羽同笠海岸に「マリンアクティビティゾーン」として展望スペース、遊歩道、海辺の駐車場・展望デッキ、シャワー水洗場など3億1000万円を、また、「スポーツアクティビティゾーン」としてイベント広場、休憩・交流施設兼トイレ、ふれあい親水公園、アーバンスポーツ施設など、3億500万円をかけて令和5年から令和9年迄の期間で整備していくことになりました。

大庭の一般質問

議員のやかだ庭のHPドメインをコードいただいた大庭質問をQRで覧ます。

■治水対策について

河川整備の事業費は

問　袋井市の治水対策のための河川整備の事業費は総額いくら予定しているか。
答　令和３年度から 12 年度までの 10 年間でポンプ場整備に 57 億円、河川改修整備に 19 億円で計 76 億円を予定している。
問　76 億円のうち、市の実質負担（市民の税金分）はどれくらいか。
答　ポンプ場 57 億円のうち国の交付金などを除く 29 億円、河川改修の 19 億円のうち同じく４億円、合計 33 億円が実質市の負担となる。

蟹田川改修は

問　原野谷川合流地点からＪＲ東海道線までの 2．3ｋｍの改修が予定されているが、それより上流部の浸水被害軽減に向けて県に要望していく考えはないか。
答　当面はＪＲ東海道線までの早期完成を強く要望していく。それ以北の改修も計画に位置づけられるように要望する。

下新池の道路冠水

事業が止まっている

問　12 年間彦島大橋で蟹田川の事業が止まっている。原因と対策は。
答　一部地権者の理解がえられていない。粘り強く交渉を続け取り組んでいく。

河川改修の完成時期は

問　彦島大橋からＪＲ東海道線までいつ完成の予定か。
答　地権者と協議中であり、現時点では完成が見通せない。

松橋川の改修計画は

問　松橋川流域で水害が発生している。河川改修を急ぐべきだ。
答　2360mの現計画のうち、450m の暫定計画を進めている。事業を前倒しして川井排水ポンプまで令和９年度の完成をめざしたい。

西地区の水害対策は

問　昨年台風１５号においても川井西地区や、木原地区で水害が発生している。早急に対策を。
答　川井地区のポンプの改修を図っていく。引き続き松橋川の早期改修が出来るように県に要望をしていく。

川井地区の道路冠水

調整池は機能しているか

問　開発時に整備される調整池（一旦水を溜める池）は有効に機能しているか。
答　下流河川への負担軽減に大きな役割を果たしている。
問　調整池はどの程度有効性があるのか。
答　太田川水系の河川整備は 10 年に一度の確率の降雨規模で河川の改修断面を設定しているが、調整池は 50 年に一度の確率の降雨規模で計算して設置しているため有効性が高い。

調整池の設置要件の拡充を

問　現在 1000 ㎡以下の開発は調整池の設置義務はない。これを高南地区、500 ㎡、川井西地区 800 ㎡のように基準を厳しくする考えはないか。
答　地域限定の取組には限界がありポンプ場整備や校庭貯留で対応したい。

土橋の工業開発について

問　土橋の工業開発の進め方は。
答　県と河川協議を進め、調整池の整備を行い下流河川への影響評価も行っており、着実に事業推進をしたい。
問　土橋工業開発に伴う下流域への影響は。
答　通常の調整池の２倍の容量の調整池のため下流域への影響は少ない。

排水機場の今後は

問　袋井機場や蟹田川機場は老朽化している。今後の予定はどうか。
答　袋井機場は機器のオーバーホールや電気設備などを更新する。蟹田機場は、県と協議の上、決定した段階で、地域や関係者に報告していく。

澤野医院記念館について

澤野医院記念館の運営方針は

問　市の今後の運営方針は。
答　引き続き澤野医院記念館世話人の皆さんにお願いしたい。

洋館の公開をしては

問　記念館にある洋館の公開は。
答　関係機関へ打診をし公開の意義や内容をについて検討していきたい。

澤野医院記念館（川井）

景観重要建造物の指定を

問　市の指定文化財に加えて「景観重要建造物」として指定できないか。
答　早期に指定できるように調整を進める。

ＶＲ（仮想現実）でＰＲを

問　施設内をＶＲ等等で紹介してはどうか。
答　民間会社の協力を得て３月１日より進める

大庭の提案、令和5年度はどうする・・

No.187　2023春号+

ごみさんまる5330運動

令和3年3月、ごみ処理有料化の提案を受けて、大庭議員からは突然ごみ袋10円を40円に値上げするのは県下でも例がない。35市町のうち18市が上げているが一袋20円程度。慎重に検討すべき、との提案をしました。これを受けて市では令和３年７月から10月にかけて市内14会場で市民説明会を行った結果、有料化を見送り、令和4年4月より、家庭系可燃ごみを2030年（令和12年）までに30%を削減する。当面の目標として2024年までに15%を削減する。という「ふくろい5330運動」をスタートさせました。

昨年は雑紙の回収や草木・剪定枝の回収を進めて来ましたが、さらなる展開として令和5年度は生ごみコンポストを100台程度配布しモニター調査をしたり、市民から「実行宣言」を募集するなど、市民ニーズなどのアンケート調査を実施する予定でいます。なお、現時点における目標に対するごみ減量の実績は令和5年2月現在で▲7. 7%となっています。ごみの減量は、まず市民の意識改革からです。

ラジコン草刈り機

令和5年度、2台のラジコン草刈り機購入し、自治会や業者に貸出を行い、安全に使用していただくための実証実験を行い、今年度課題を整理して新たなルール作りの作成が予定されています。

これまで河川の堤防の草刈りは地域の皆さんによる河川愛護活動で行われてまいりました。しかし、近年、自治会の高齢化により負担となっていましたことから、平成24年、大庭議員からの提案で袋井市全体の河川の草刈り面積120万㎡のうち、約3割を行政が行うようになりました。また、令和3年、再度の大庭の一般質問に市は5年後には半分程度を目標に行政が草刈りを行っていきたいという答弁もされています。

左の写真は昨年9月原野谷川堤防においてラジコン草刈り機のデモンストレーションを行ったときの模様です。繁茂した堤防斜面の草を自走で刈り込む様子は頼もしく、今後、こうした機器の導入で市民負担の軽減が図られることを期待します。

県の石 貝化石

平成25年9月に宇刈大日の貝化石が日本地質学会表彰を受賞し、さらに平成28年5月に日本地質学会から、この袋井市大日の貝化石群が静岡県の「県の石」に認定されました。これは県下3箇所のうちの1箇所に選ばれたもので、学術的にも価値があるものです。最近では、市外の見学者や修学旅行を兼ねた児童も訪れるなど大変注目をされていました。こうした袋井市の固有資源をシティプロモーションとして生かすべき、との大庭議員からの提案で令和5年にはこの整備に向けての予算化がされました。

令和5年に行う市の事業としては

①化石ブロックを寄贈して貰い歴史文化館や郷土資料館で展示をする。
②露頭（200万年前の地層）の前にブロック化石のレプリカを展示する。
③露頭ＰＲ・説明看板を作成。専門家による解説動画の作成をする。ｅｔｃ

information

いま、東京都立現代美術館でクリスチャンディール、夢のクチュリエ展が昨年12月21日より今年の5月28日まで開催されています。

このディオール展はロンドンやニューヨークでも開催されてきた展覧会で、今回はディオールと日本との絆を称える特別な展示会として開催されているものです。この展覧会では、過去からこれまでのアクセサリーやスーツをはじめ多くの作品が展示されています。

この中には「ディオール レディ アート」の作品として下の写真のようにバックを展示したコーナーも設けられており、この中には大庭議員の次男「大庭大介」が画家として描いた作品3点がバックのデザインとして採用され展示されています。なお、入場には当日券もありますが、完売も予想され予約チケットがお勧めです。

一般　2000円
大学生・専門学校生・65歳以上　1300円
中高生以下　無料

都立現代美術館

あとがき

２月定例会を傍聴してきました。30数名の傍聴者、大庭議員と、市長や教育長、部長との一問一答の白熱したやりとり、いつもながらの説得力のある質問に一同、納得して議場を後にしました。　ｋ．ｈ

大庭のホームページ

皆様からのご意見をお待ちしています。

■Ｅメール
ohba@mxu.mesh.ne.jp

検索
大庭みちよし

発行所 大庭通嘉後援会
事務所 〒437-0055 袋井市土橋187
TEL090-2138-9220
FAX 0538－42－1925

大庭通嘉後援会ニュースは自費によるもので公費（政務活動費）は使っていません。